



しりべし i システム事業スタッフ研修会（合宿編）報告



1月31日～11月1日と後志観光連盟さんの「広域観光連携推進事業」セミナーと共に開催した昨年続く宿泊研修会(合宿地：黒松内町)でした。13時からのセミナーでは後志総合振興局地域産業担当部長、新田部長様から北海道新幹線開業を控えての環駒ヶ岳広域連携協議会での取組み事例(森町、七飯町、鹿部町)の紹介を頂き、まずは地を愛していること、地域資源と人を巻き込んだ滞在型観光商品開発、助成金情報、そして何よりも人々の交流が大事

なのだと企画現場に大変参考になるお話でした。続いて北海道観光推進機構からの田中洋一氏からは、JTB、JRの経験を生かした分析と商品作りのポイント、PRのポイントをお話頂きました。訪日外国人の観光消費額の高さ、教育旅行の可能性、地方空港の活用、既存交通の活用など視点を変えればまだまだあるぞ！的でしたし、広域での観光取組助成金採択のコツもご教授頂きました(一発花火はダメ、現物協賛可、数年計画)。後志関連、教育旅行の取組みとして蘭越町のマルベリーさんのコンセプトを絶賛されていました。事前に何を学べるか？現地で何を学ぶか？帰途して何に気が付いたか？と教育的要素の芯が通っていると。都市圏生徒のマンモス数を後志全域に散らすことで事後学習成果、研究、追及の発表も変わってくると(地域連携滞在型メニューの新発想だと思いました)～休憩をはさみSTSメニューへ～



STSメニュー①(振興局講堂)では11月下旬に公開となります
NEW しりべし i ネットの全容説明。リニューアル最大のポイントはモバイル対応とSNSとの連携です。単独入力のこれまでと違い、地域情報数が増え、メインの「地域だより」が役場、観光協会の発信情報に「地域の達人コーナー」では地域からの推薦、STS



からの打診により加わった個人、団体の発進SNSとも連携しています。これにより手作りのイベント情報や穴場情報、コアな旬情報も見ることが出来ます。先日の新聞に「地域の情報発信を集約するサイトをつくると効果的だ」とのコメント掲載が有りましたが、リニューアル後の課題は後志ポータルサイトとしてのiネットの存在を広く知らせることだと思っておりますので皆様

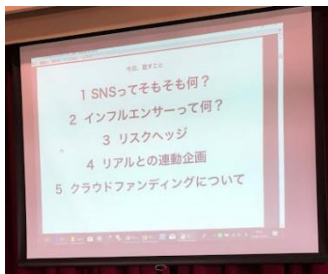


のコネやツール、人脈のご協力をよろしくお願い致します。ここで一部を終了し、バス移動で合宿地へ向かいます。昨年は真狩コテージ宿泊。今年は黒松内歌才の家です。歌才の家では研修室棟にて、STS研修②メニューの「ポケトーク体験」を代理店の方に講師をお願いし開催（11/3 道新掲載）。

現在、スマホ用翻訳アプリも多数ありますが、実際のインフォ現場での対応のスピードの遅さ感が払拭出来ずにいました。積丹iセンターで既に導入され活躍していると聞き、現場スタッフの方、更には外国人対応で苦慮している地域事業者の方に紹介や説明が出来る体験会としました。紹介された「外国人の旅行中に困ったことアンケート」によると「施設スタッフのコミュニケーション 32.9%」「言語表記の少なさ、分かりにくさ 23.6%」「公共交通の利用 18.4%」だそうです。これらの回答にもポケトークは一役担えそうです。代理店の中国語、韓国語が堪能な方とセンタースタッフによる寸劇でスピード性や正確さ、操作の簡単さを体験。



ジェスチャーや定型語句での長年の慣れがあるのですぐに使いこなす！とまでは成らないでしょうが、慣れたら便利さ実感な道具だと思えます（実際、語学が〜で躊躇な海外旅行も首から下げて歩けば世界中いけるぞ！と思えますもの。70か国語以上の対応です）全てのメニューを終え、時間も押し気味でそのまま懇親会へ。地域にはiネットに関わり10年以上の現場スタッフが沢山居ります。店や景観など有名な認定制度もありますが、STSでは現場スタッフは地域玄関口の守り人、コンシェルジュだと思っています。そんな方々を“地域の素晴らしいコンシェルジュ”として認定、表彰しても良いのではないかと考え、「地域の達人」として認定証を作り授与致しました。記念すべき第1号とさせて頂いたのは（通し番号入り！）真狩iセンタースタッフ14年勤務、合宿参加もされた真狩観光協会、藤川千鶴子さんにお渡し致しました。今後、後志の地域玄関口として活躍の認定はスタッフだけにとどまらず、リニューアルiネットでの「後志の達人」コーナーで日々の模様や情報を発信している方や団体も対象にしていくのも、人で繋がる後志らしくて良いな〜と思っていますが如何でしょうか？宴も中盤となりマジシャンとして腕をあげた真狩バロン豪華マジックショーを堪能し、二次会、各部屋親睦会と夜中まで続き・たようです。



翌朝は9時から（株）TREASURE IN TOMACH、小笠里沙氏によるSNSの有効な活用例、インフルエンサーや運用ポリシー掲載の意味、SNSを有効活用した企画書作りのモデル事例づくりなど行いました。

活用法やタグの意味など、もっと深掘りしたいテーマでもありました。第2弾も期待したいところです。セミナー最終はブナセンターに移り、黒松内観光協会が取り組んでいるツーリズムの説明を聞き、オールシーズンの楽しみ、味わい方があるというブナ林散策。町の観光資源、地域の宝として大切に保存、整備されているのが解ります。講堂でのメニューから最後まで濃い、充実した内容の合宿であったと思います。

